

～絶滅の危機にある可憐な花～

ハナハタザオ ガイドツアー開催します

国営ひたち海浜公園の「砂丘エリア」では、紅紫色の小さな花が魅力のハナハタザオが咲いています。ハナハタザオは山地や海岸の砂地などに自生する希少植物で、環境省レッドリスト（2020）・茨城県版レッドデータブック（2012）では絶滅危惧Ⅰ類に指定されています。ガイドツアーでは、公園ボランティア「野生植物パートナー」がハナハタザオをはじめ、ハマボウフウやカワラサイコなどの希少な海浜植物の自生地等をご案内します。



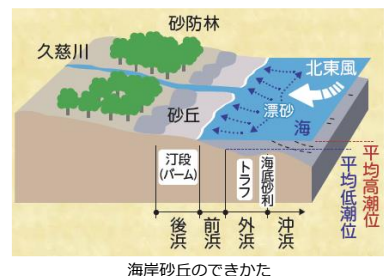
砂丘エリア 撮影/2023年6月5日

◆砂丘に咲く紅紫色の花

ハナハタザオは、アブラナ科ハナハタザオ属の越年草です。高さは15～50cm、直径1cmほどの紅紫色の花を咲かせます。旗竿のように1本茎で立ち、きれいな花を咲かせることが名前の由来といわれています。茨城県、山梨県、熊本県などの限られた場所に自生しており、ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高い希少な植物です。

【ハナハタザオ】

■開花時期/6月上旬～7月中旬 ■場 所/砂丘エリア



海岸砂丘のできかた

◆「砂丘エリア」と「希少な動植物」

約3kmにわたる砂丘エリアの地形は、久慈川から流出した砂が漂砂となり海岸に堆積し、その砂が北東風により押し上げられて形成されています。砂丘エリアには、ハナハタザオのほかにも希少な動植物が数多く生息しており、太い根を深く伸ばすことで水分を確保する「ハマボウフウ」や葉緑素がなく他の植物から養分を吸収して生きる「ハマウツボ」、背面の模様と配色が砂地での保護色となる昆虫「カワラハンミョウ」など、絶滅や準絶滅が危惧される多様な生き物が観察できます。



ハマボウフウ (2023年6月5日撮影)

◆「ガイドツアー」と「保全活動」

砂丘エリアでは、ハナハタザオの開花期に「ハナハタザオガイドツアー」を開催します。公園ボランティアの「野生植物パートナー」が、ハナハタザオをはじめとする希少な海浜植物の自生地等をご案内する観察会です。「野生植物パートナー」は、希少植物の開花株数調査や圃場での育成、増殖活動など、年間を通して希少な動植物が生息・生育する砂丘環境を守る活動をしています。

【ハナハタザオガイドツアー】

■日 程/6月11日(日)・18日(日) ■時 間/①10:30～ ②13:00～  
 ■場 所/砂丘エリア ■受 付/事前申込制(029-265-9001) ■参加費/無料  
 ■定 員/各回20名 ■雨 天/中止 ■協 力/野生植物パートナー



ハナハタザオの定植 (2023年3月31日撮影)

Information

6月24日(土)に多目的ホールで「環境シンポジウム」を開催します。

公園公式SNSもご覧ください



お問い合わせ 国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報係 田中・渡邊・田野  
 TEL:029-265-9001 FAX:029-265-9339  
 〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4

<https://hitachikaihin.jp>